

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら横浜中田教室

保護者等数(児童数) 18 回収数 18

割合 100 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-----------------------------|---|-----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 16件 | 1件 | 件 | 1件 | | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16件 | 1件 | 件 | 1件 | | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 13件 | 2件 | 件 | 3件 | | 教室は2階です。てすりがついています。教室の中はバリアフリーです。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 17件 | 件 | 件 | 1件 | まだ通い始めたばかりなのでわかりません。 | |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 18件 | 件 | 件 | 件 | プログラムカレンダーを配布してくれるので、確認をしながら子供が教室に言っています。 | お子さんが手帳に張ったり机に置いたりしているお話を聞き見やすいように工夫をしています。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 8件 | 3件 | 7件 | 件 | | 申し込んでみたのですが、コロナでおことわりをされてしまいました。今後見つけていきたいと思っています。 |
| 保護者 への 説明 等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 18件 | 件 | 件 | 件 | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 17件 | 件 | 件 | 1件 | | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 16件 | 2件 | 件 | 件 | 些細な困りごとでも、親身に話を聞いてくださり、アドバイスをくれます。 | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 10件 | 1件 | 2件 | 5件 | コロナで出来なかったと思いますが、ベアトレや保護者会では、スケジュール管理のやり方をおしえてくれた。 | お便り出しています。不参加の方が多く、やっていることの周知ができていなくて残念です。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 14件 | 件 | 件 | 4件 | | 対応させていただいています。何かございましたら、すぐに連絡をください。よろしく願っています。 |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 14件 | 1件 | 件 | 3件 | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 17件 | 件 | 件 | 1件 | 楽しそうな雰囲気や伝わりさはる通信を楽しみにしています。 | 季節ごとや外出等の事はお便りでお知らせしています。中田教室のブログにものせています。こちらも、周知が必要ですね。 |
| | 14 個人情報に十分注意しているか | 18件 | 件 | 件 | 件 | | |
| 非常 時 等 の 対 応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 16件 | 1件 | 件 | 1件 | | 感染症対策等も、さる通信にのせたりしています。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 17件 | 件 | 件 | 1件 | | 災害伝言ダイヤルの日を設定して保護者の方が訓練に参加できるようにしています。 |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 17件 | 1件 | 件 | 件 | いつも楽しく行っています。ありがとうございます。 | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 18件 | 件 | 件 | 件 | 学校だけではないお友達が増え色々な経験をさせてもらい成長したと思います | |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 11月 20日

事業所名

横浜中田教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|-----|-----|---------------------------------------|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 12件 | 件 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 11件 | 1件 | 規定の職員以上を配置している。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 11件 | 1件 | 教室は2階です。 | 教室の中はバリアフリーになっています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 12件 | 件 | 定期的に会議をしている。隙間時間を利用し、非常勤にも参加してもらっている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 12件 | 件 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 11件 | 1件 | 何度が伝えている。 | 職員に、自社ホームページや本部ホームページを周知するように、毎年説明をする事が必要だ。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 12件 | 件 | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 12件 | 件 | 外部研修を受けられるように時間の工夫をしている。 | 隙間時間を使って、非常勤には個別に研修をしたりしている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 12件 | 件 | 保護者の要望、お子さんの発達状況に応じて支援内容を決めている。 | もう少し見る視点を変えていくことも必要だと思う。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 12件 | 件 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 11件 | 1件 | 担当者だけでなく職員間でプログラムを提案しあっている。 | お子さんの成功体験が増えるようなプログラムにしていこう。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 12件 | 件 | 意見やアイデアを出し合えるような意見を取り入れ、工夫をしている。 | 子供が楽しめそうなものを常に探している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 12件 | 件 | 外出や続けて行うプログラムを実施している。 | 設定予定は作っているが、可能であればもう少し早く予定を立てられればよい。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 12件 | 件 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 12件 | 件 | 毎朝ミーティングをしている。職員連絡ノートを活用している。 | 毎日ではないので思っていることがずれてしまう事がある。とゆう意見もあった。しっかりと、全職員にわかるように行っていく。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 12件 | 件 | 翌朝になるときもあるが行っている。 | なるべくその日のうちに、行うように心がける。翌朝でも必ず振り返りは行う。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 12件 | 件 | メモや付箋も活用している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 12件 | 件 | メモや付箋も活用している | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 12件 | 件 | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 12件 | 件 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|-----|----|---------------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 12件 | 件 | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 件 | 件 | | 受け入れていない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 9件 | 2件 | 電話で連絡をしている | 今後はもっと積極的にし、職員間にわかるようにしていきたい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 12件 | 件 | | まだ、一人ですがしっかりと移行しました。今後も、きちんと移行していきます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 12件 | 件 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 7件 | 5件 | | コロナで機会がありませんでしたが、だいぶ落ち着いてきているので、そろそろ始めたいと思います。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 12件 | 件 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 12件 | 件 | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 12件 | 件 | | ペアレントトレーニングを実施しています。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 12件 | 件 | 契約時に行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 12件 | 件 | 来所できない方には電話での相談ができるようにしている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 11件 | 1件 | | コロナで、できなかった保護者会を今年度はおこないました。ペアレントトレーニングも実施しています。きちんと周知していただけるように、工夫していきます。職員にも周知していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 12件 | 件 | すぐに訪問し、お子さんの様子を確認している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 12件 | 件 | ホームページや会報で、定期的に発信している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 12件 | 件 | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 12件 | 件 | | |
| 非常時等の対応 | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 10件 | 2件 | 研修生の受け入れをおこなった。敬老会に子供たちがお礼をした。 | 職員全員に、事業所でしていることを周知することが必要。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 12件 | 件 | 常時閲覧できるようにしている。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 12件 | 件 | 保護者を交えた避難訓練の実施。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 12件 | 件 | 順番に研修を受けている。代表との面談あり。虐待防止委員会あり。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 7件 | 1件 | 身体拘束の基準は決めている。 | 身体拘束をしなければならない事案は、ない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 12件 | 件 | | 医師の指示が必要なアレルギーのお子さんの受け入れは今は、ない。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 12件 | 件 | 記入を促している。 | 職員がいつでも見れる場所に移動する必要がある。 |